

随意契約理由書

1 業 務 名	阪神高速道路の技術基準に関する調査研究及び審査業務（2022年度）
2 業 者 名	（一財）阪神高速先進技術研究所
3	
<p>本業務は、阪神高速道路の建設および維持管理の技術基準等の制定・改定や設計品質の向上に資する高度な調査研究や審査を行う業務である。また、高度な調査研究や審査に際し、有識者委員会を組織し、技術基準の制定・改定の課題の抽出及び課題に対する検討を行うものである。</p> <p>したがって、本業務を行うにあたっては、</p> <p>①阪神高速道路の構造物および設計基準を熟知し、阪神高速道路の技術基準に関する高度な調査研究や審査を実施できること。</p> <p>②当社の技術審議会※と一貫した検討が可能な有識者委員会を組織できること。</p> <p>が求められる。（※：https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyou/council/index.html）</p> <p>一般財団法人阪神高速先進技術研究所（以下、「当該研究所」という。）は、</p> <p>①「阪神高速道路における鋼橋の疲労対策」、「損傷と補修事例に見る道路橋のメンテナンス」等の技術図書の編集・発行や、大阪湾岸道路西伸部における鋼管集成橋脚の地震応答解析の実施など、阪神高速道路の技術基準及び構造物に精通し、高度な調査研究や審査を実施できる。</p> <p>②阪神高速道路の技術審議会の委員および顧問をメンバーに含む有識者委員会を既に有している。</p> <p>ことから、本業務を実施するために必要な要件を備えている。</p> <p>また、本業務と同種業務を過去10年間のうち2回以上、当該研究所以外の参加者の有無を確認する公募手続きに付したが、参加意思確認書の提出者がいなかったこと等から、現時点において当該研究所が本業務を実施可能な唯一の機関であると認められる。</p> <p>よって、阪神高速道路株式会社契約規程第2条第2号の規定により、一般財団法人阪神高速先進技術研究所と随意契約するものである。 以 上</p>	
阪神高速道路株式会社契約規程第2条第2号の規定による。	